



図 1 祝辞を賜った松本洋一郎東京大学理事・副学長

2012年1月28日、東京大学柏キャンパス・柏図書館メディアホールにおいて、大型低温重力波望遠鏡・一般講演会及び愛称公表式が行われました。

一般講演会では、来賓・招待の方を含めた来場者数は144名（会場定員）を超え、会場外に設置されたモニターによる中継を行うほど盛況でした。最初にはまず、松本洋一郎東京大学理事・副学長の祝辞に続き、川村静児宇宙線研究所重力波推進室教授が非常に分かり易い例え

を用いて講演し、聴衆が真剣な面持ちで聞き入っていました。また、途中軽い冗談を交えつつの軽快な講演に聴衆からは笑い声が上がる場面が何度もありました。その後、柴田大京都大学基礎物理学研究所教授による数値相対論を使った重力波の解析に関する講演がありました。物理学者でも同じ業界内でなければ普段あまり見ることがない、連星中性子星やブラックホール同士の合体による重力波放出のシミュレーション画像に、聴衆も興奮気味に見入っていたのが大変印象的

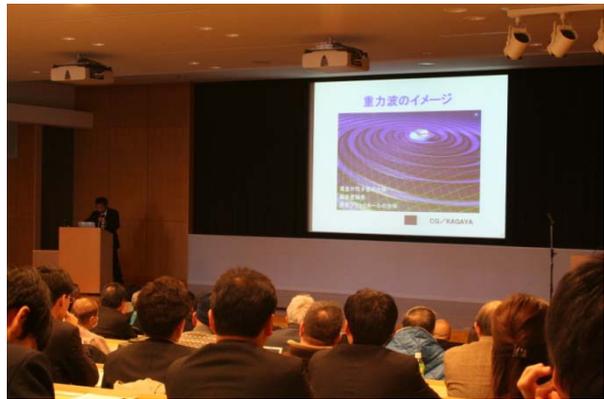


図 2 川村教授による講演中の様子

でした。質疑応答の時間もたくさんの質問が出ており、中には高度な質問をされていた方もいて、講演者側が驚かされるような場面も見受けられました。



図 3 柴田教授による講演中の様子

一般講演会に続き、2010年12月14日から2011年2月9日の間に全国から公募した大型低温重力波望遠鏡の愛称を公表する「愛称公表式」が行われ、震災で公表が遅れていた愛称がついに公表されました。この愛称は、作家の小川

洋子さんが毎日新聞に寄せられたコラム「早くこのにも相応しい名前をつけてあげてほしいと願う」とのメッセージをきっかけに、小川さんを委員長とする命名委員会によって、全国から666件寄せられた愛称候補の中から「かぐら (KAGRA)」という愛称

によって、全国から666件寄せられた愛称候補の中から「かぐら (KAGRA)」という愛称



図 2 小川様による愛称公表の瞬間



図 3 挨拶されている小川様



図 4 愛称命名者の方達と、代表して挨拶をくださった大林様

を決定したものです。

かぐら (KAGRA) の「か (KA)」は建設地である「神岡」の頭文字と「ぐら (GRA)」は重力波である Gravitational Wave の先頭の Gra を合わせたものです。この愛称が、広く世界に浸透し、世界の最先端観測拠点になることを願っています。

愛称公表式では、小川委員長から愛称の公表があり、4人の命名者に記念品が贈呈され、江川雅子東京大学理事が祝辞を述べられました。

愛称公表式終了後、柏キャンパス内のレストランで関係者のみによる祝賀会が開催され、磯田文雄東京大学理事から祝辞を頂きました。また、小川さんや命名者から再び挨拶を頂戴し、盛況のうちに

祝賀会は閉会しました。

たくさんの人々の想いと期待を背負いつつ、大型低温重力波望遠鏡は「かぐら」として新たな一歩を踏み出しました。近い将来に完成に至り、人類史上初となる重力波の検出をご期待頂きたく、そして今後とも応援して頂きたく思います。



図 5 祝辞を賜った江川雅子東京大学理事



図 8 祝賀会の様子



図 9 祝辞を賜った毎日新聞社の青野由利様